

サービスステーションの「総合エネルギー供給拠点」化に向けた電気自動車向けビジネスモデルに関する実証プロジェクトの展開について

記者各位

当社(社長:西尾進路)は、2009年10月から2011年3月末までの間※、電気自動車(以下「EV」という。)に対応した急速充電サービスおよび太陽光発電による電力供給に関する実証プロジェクトを展開しますので、お知らせいたします。

近年、地球温暖化問題を背景に、自動車市場においては環境対応車の普及が加速しております。EVについても、現在、国内自動車メーカー各社が、開発および市場への投入を進めているところですが、EV普及実現のためには、充電インフラの整備・普及も不可欠であります。

本プロジェクトでは、東京・神奈川を中心とする全国22ヶ所のENEOSサービスステーション(以下「SS」という。)に急速充電器を設置、三菱自動車工業株式会社のEV「i-MiEV(アイ・ミーブ)」を20台導入して、急速充電サービスの提供を行います。また、一部のSSにおいては、充電中の待ち時間を利用した付加サービスの提供やSSを拠点としたEVによるカーシェアリングサービスの提供も行い、SSでのEV向けビジネスの事業性について検証してまいります。

さらに、22ヶ所中19ヶ所のSSには、太陽電池を設置してSSの節電効果の検証を行うとともに、うち1SSでは、急速充電器にも連系させて太陽光発電による電力供給を行います。

当社は、本プロジェクトを通じて、EVの普及に対応したSSのビジネスモデルを構築していくとともに、他方では、燃料電池自動車向け水素供給ステーションの事業化実証などにも取り組み、将来的には「SS＝総合エネルギー供給拠点」と位置付け、多様化するエネルギー供給を担う次世代SS像を確立してまいります。

※本プロジェクトの展開期間のうち、2009年10月より2010年3月末迄の半年間は、経済産業省の委託事業「平成21年度電気自動車普及環境整備実証事業(ガソリンスタンド等における充電サービス実証事業)」として、日本電気株式会社・日本ユニシス株式会社と共同で展開。2010年4月以降の1年間は、当社による自主事業として展開予定。

《プロジェクト概要》

1. 展開エリア・SS数

合計22SS:東京都(9SS)、神奈川県(10SS)、青森県(1SS)、岡山県(1SS)、福岡県(1SS)

※具体的なSS名及び展開時期は当社ウェブサイトにて順次公表いたします。

2. 実施内容

(1)全22SSに急速充電器を設置し、急速充電サービスを提供

⇒急速充電における最適な認証・課金形態の構築(2010年4月より課金開始)

(1)東京・神奈川地区において、10km圏内に1ヶ所の割合で設置(計19SS)

※EVの航続距離に対するユーザーの不安を解消した状態にするために、一定の間隔で配置

(2)その他、青森県・岡山県・福岡県においても各1ヶ所に設置(計3SS)

(3)EV導入20台のうち17台をSSの近隣在住のモニターに貸与し、ユーザーニーズを調査

(2)充電中の待ち時間(約30分間)を利用した付加サービスの提供およびSSを拠点としたEVによるカーシェアリングサービスの提供

⇒SSでのEV向けビジネスモデルの開発・検証

(1)付加サービスは、東京都(7SS)・神奈川県(9SS)・福岡県(1SS)で展開(計17SS)

(2)充電時間内に実施可能な洗車、室内清掃、点検等を提供し、17台のモニターによりユーザーニーズを調査

(3)カーシェアリングサービスは、EV導入20台のうち3台を利用して、東京都(2SS)・神奈川県(1SS)で展開(計3SS)

(3)太陽光発電による急速充電器への電力供給

⇒技術的課題の抽出と経済性の検証

(1)福岡県(1SS)で実施、太陽電池および蓄電池を設置して急速充電器へ連系

(2)他18SSにも、太陽電池を設置(充電器とは非連動)し、SSの節電効果を検証

以上

 [急速充電器本体および仕様 \(PDF:64.8KB\)](#)